

第九回日本モビリティ・マネジメント会議 開催案内

- 主催：一般社団法人 日本モビリティ・マネジメント会議
- 会場：北海道帯広市 とかちプラザ
- 共催：帯広市、(公社)土木学会 ほか
- 後援：国土交通省（予定）ほか
- 日時：2014年7月25日（金）～7月26日（土）
- 趣旨：

モビリティ・マネジメント（MM）は、社会心理学や社会学などの「学術的」な知見を基盤とした、人々にコミュニケーションで働きかけることにより交通行動の自発的な変化を促す「実務的」な交通施策です。我が国におけるMM施策が今後も効果的・広範に推進されることを目指して、行政、大学、コンサルタント等のMM関係者が一堂に会する日本モビリティ・マネジメント会議（JCOMM）の第九回会議を開催いたします。

● 発表申し込み：

下記をJCOMM web ページ内の発表申込フォーム (https://ssl.alpha-prm.jp/jcomm.or.jp/form/9th_presentation.html) に記入のうえお申し込みください。発表申し込みは無料です。

- ①発表者・連名者の氏名・所属/勤務先、②代表者連絡先（氏名、住所、tel、e-mail）、③MMで使用したツール展示の希望、④発表タイトル、⑤発表概要（800字以内（厳守）で a) 背景と目的 200 字程度、 b) プロジェクトの内容 200 字程度、 c) 効果 200 字程度、 d) 結論 200 字程度を記載）、⑥キーワード
- ※ 発表申込締め切り：2014年4月11日（金）
- ※ 発表形式にはポスター発表（ポスター掲示と説明）、口頭発表（スライド形式での口頭発表）の2通りありますが、個々の発表の形式については、プログラム編成の都合により、JCOMM 実行委員会にて検討させていただきます。
- ※ なお、概要集には、代表者の方の連絡先（電話番号・メールアドレス）を記載させて頂く予定にしております。もし不都合ございましたら、投稿時にその旨、お申し出下さい。

● 参加申し込み：

下記をJCOMM web ページ内の参加申込フォーム (https://ssl.alpha-prm.jp/jcomm.or.jp/form/9th_entry.html) に記入の上お申し込みください。

- ①氏名、②所属/勤務先、③連絡先（住所、tel、e-mail）
- ※ 参加申込締め切り日：2014年7月4日（金）
- ※ 参加費（資料代含む）3,000円

● 詳細：URL：<http://www.jcomm.or.jp/>

● 問い合わせ先：

京都大学都市社会工学専攻藤井研究室 JCOMM 事務局
（担当：神田・宮川・佐藤・藤井） tel: 075-383-7493



写真 十勝牧場の白樺並木

暖かな陽気に春の到来をひしひしと感じる今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。新入生や新入社員を迎え、気持ち新たに新年度をスタートさせたという方も多いかと思えます。

今回のJCOMM通信は、第九回日本モビリティ・マネジメント会議開催の詳細を中心にお届けします。

また、現在構想中のMMの計画や、MMに関連する各種の制度的/研究的な提案や自由なアイデア等、多様なご発表の申し込みをお待ちしています。MMについて多面的に議論できる、年に一度の機会です。左記をご参照の上、ぜひお申し込みください。皆様に帯広でお会いできることを楽しみにしております。



日本モビリティ・マネジメント会議
ニュースレター

Vol.31 ● 2014. 3.31

【発行】 JCOMM実行委員会
ニュースレター編集部
【お問合せ】 筑波大学 谷口綾研
大阪大学 松村研

mail: info@jcomm.or.jp

MMに関連する会告掲載希望やご意見等、随時受け付けております。

イベント案内 第九回JCOMM開催のお知らせ

本年七月二十五日（金）、二十六日（土）に帯広で開催を予定している第九回日本モビリティ・マネジメント会議（JCOMM）の詳細が決まりました。本会議では、本年度取り組まれたMMの成果はもちろんのこと、現在構想中のMMの計画や、MMに関連する各種の制度的/研究的な提案や自由なアイデア等、多様なご発表の申し込みをお待ちしています。MMについて多面的に議論できる、年に一度の機会です。左記をご参照の上、ぜひお申し込みください。皆様に帯広でお会いできることを楽しみにしております。

イベント案内 平成二十六年度JCOMM賞 候補募集について

日本モビリティ・マネジメント会議（JCOMM）は、我が国におけるモビリティ・マネジメント（MM）施策が効果的・広範に推進されることを目指して、行政、大学、コンサルタント等のMM関係者が一同に会する定期的な会議であり、本会議を通じてMM技術・知識の体系化を積極的に進めています。JCOMM実行委員会（委員長 石田東生 筑波大学大学院教授）では、国内の様々なMMについての様々な取り組みや研究の中でも、特に優秀な取り組みや研究を選定し、その実現に貢献した個人（複数可）あるいは団体（複数可）を表彰いたします。そして、本賞を通じて、MMの「実務発展」と「技術発展」を期待します。本賞の趣旨をご理解頂き、各賞候補に奮ってご応募・ご推薦されますようお願い申し上げます。

なお、応募規定の詳細につきましては、JCOMMホームページをご覧ください。

【各賞の概要】

○マネジメント賞

モビリティ・マネジメントにおける実務的な「一連の持続的マネジメント」の中でも、とりわけ、都市・地域のモビリティの質的改善や渋滞、環境問題、公衆の健康増進問題や都市構造問題などの交通に関連する諸問題の解消に向けて、効果的に推進されている一連の持続的マネジメントについて、個人（複数可）あるいは団体（複数可）を対象として授与する。

○デザイナー賞

モビリティ・マネジメントにおける実務的なプロジェクトにおいて実際に使用されたマップ、リーフレット、フォルダー、アンケート票等の各種ツールの中でも、とりわけ秀逸なデザインがなされた個人、ないしは、一群のツールについて個人（複数可）あるいは団体（複数可）を対象として授与する。

○技術賞

モビリティ・マネジメント実務に資する技術の発展に、顕著な貢献をなした「研究業績」について個人（複数可）を対象として授与する。

○プロジェクト賞

モビリティ・マネジメントの一連の取り組みの中で実施された「実務的なプロジェクト」の中でも、とりわけ、都市・地域のモビリティの質的改善や渋滞、環境問題、公衆の健康増進問題や都市交通問題などの交通に関連する諸問題の緩和に実際に大きな貢献をなしたプロジェクト、あるいは、そうした諸問題の抜本的緩和に繋がりを新規性を持つプロジェクトについて個人（複数可）あるいは団体（複数可）を対象として授与する。

JCOMM法人会員紹介 Vol.14 二世 北海道開発技術センター

(一社) 北海道開発技術センターでは、十年以上に渡り北海道内外で多数のMMに取り組んでおりますが、今回は、その中でも特徴的な事例を二つご紹介させていただきます。

①とうべつバスまつり(当別町)

当別町では、コミュニティバスをはじめとする公共交通の利用促進を目的として「とうべつバスまつり」を開催しました(平成二十二年度/平成二十四年度)。薪を燃料に走るバスや北海道日本ハムファイターズの選手が使用するバスの試乗会の他、北海道で活躍するお笑い芸人を起用した交通クイズ大会など、バス交通に関する様々な企画や移動からのCO2削減の取組みを促す企画が盛り込まれ、町内外のみならずまでにぎわいました。



②小学校における札幌らしい交通環境学習(札幌市)

札幌市では、市内小学校に積極的にMM教育を実施することを目的に、教諭自身による交通環境学習指導案の作成、トライアルな授業の実施、MM教育を認知いただくための教諭向けのフォーラム開催など「現場主導」によるMMの定着を進めています(平成二十三年度から(公財)交通エコロジー・モビリティ財団にて支援)。

弊社では、このような「MM手法・思想の実社会への落とし込み」を重視して、これからも積極的な提案・支援を行っていきたくと考えております。

ニッポンのMM 第二十二回

「マネジメント技術を応用した混雑緩和の取り組み」について

江ノ島電鉄は鎌倉・江の島の観光地を結ぶ鉄道ながら首都圏との交通アクセスの良さから、行楽シーズンには多くの観光客が利用されています。この様な中、特に土休日においては観光客が集中するため慢性的な混雑が発生し、列車の定時運行に支障をきたすなど、お客様に大変なご不満を与えております。

具体的な土休日の時間帯別乗降数を見ると、長谷・鎌倉間での一三時台〜一七時台の混雑が最も激しく、この時間帯における行動変容による混雑の平準化が必要となっています。

そこで当社では、適切な情報提供により観光のお客様の行動に変化を促すため、モビリティマネジメント技術を応用したパンフレットを制作し、行動変容を図っていく施策を導入することといたしました。

このパンフレットは電車の混雑を明確に示し、混雑を避けることでより快適な観光が楽しめることをPRするほか、具体的な観光プラン・観光施設の情報を提供して自発的な行動変化を促しています。また、東京や横浜までの帰宅を考慮して、他社の帰りの電車時刻に関する情報を提供し安心して

夜まで楽しめる事をアピールする等を行っています。

これらパンフレットの製作の他にも、行動変容の効果を高める施策として、金銭的な恩恵が受けられるような周遊券を造成し効果を高めております。

施策後に実施した混雑率の調査では、時間帯別乗降客数に基づくピークそのものが若干、後ろ倒しとなっており特に一六時以降に混

雑率の増加が見えています。観光客の行動心理からすると帰宅時間において大きく変化することは考えづらいことから一定の効果はみられると推測できます。

(江ノ島電鉄株式会社 観光企画部 中沢俊之)

13時から利用に新券お買!			
ゆりやま くま	江の島 エスカー	コロンブス ツアー	シーサイド パス
580円	350円	200円	300円
合計1340円(税込) 1000円でぜんぶお楽しみます			

江ノ島電鉄の各駅に、日本橋エスカー、江の島エスカー、コロンブスツアー、シーサイドパスの各券が並び、お客様がご利用いただけます。また、各券の組み合わせにより、さらにお得な料金設定もご用意しております。

新発売! 夕方からの新発見に便利な

鎌倉・江の島 アフタヌーンパス

乗車回数券 ¥1,200円(税込)500円
有効期間 ¥2012年4月1日～
有効区間 鎌倉駅～江ノ島駅(江ノ島線)
発売期間 江ノ島電鉄株式会社 各駅窓口
お問い合わせ 江ノ島電鉄株式会社 観光企画部

江の島を
楽しんでみませんか?
(江ノ島線内限定)

観光企画部 中沢俊之

【お問い合わせ】江ノ島電鉄株式会社 TEL.0466-24-2713(平日9:00-17:00) ホームページ http://www.moden.co.jp/